

感性光る水彩画や織物

倉敷で「キラリ Kagayaki 展」

旭川荘施設利用者が50点

社会福祉法人旭川荘 者の頑張りを多くの方 紙を使って花火大会の (岡山市北区祇園) の感じてほしい」と呼 にぎわいを表現した貼 施設利用者が手掛け び掛けている。23日ま り絵、不要になったセ ーターの毛糸を織り直 してマットに仕上げた 作品の奥に掲げ、会場 を彩る。

覧会「キラリ Kagayaki 展」が、倉 害者支援施設「愛育寮」 「結び織り」など、細 敷市中央の加計美術 「吉備ワークホーム」 やかな技が光る力作が 館で開かれている。 など12施設の利用者 並ぶ。

水彩画、貼り絵、織 が、日中活動の一環で 目を引くのは、深い 水など個性あふれる 制作。ピンクや紫、黄 青地の布に絵の具やペ ンでカラフルな星のイ ーを通過して培われた利用 者の技や経験が凝縮さ れている。ぜひ足を運 び、作品のすばらしさ を知ってほしい」と話 している。



絵の具を薄くにじませ、愛らしい花を描いた作品



和紙などを使い、花火大会のにぎわいを表現した貼り絵

午前9時～午後5時 (入館は同4時半まで)。無料。問い合わせは加計美術館(086-4277-7530)。(安部晃将)

さ5・3歳)。利用者たちが力を合わせて仕上げた大作で、3月に旭川荘創立60周年を記念し、岡山シンフォニーホール(岡山市)で催したオペラ公演で舞台背景に使われた。今回の展覧会では個々の作品の奥に掲げ、会場を彩る。

展覧会の運営を担当する旭川荘アートギャラリー(岡山市北区祇園)の出口隆一館長(60)は「日ごろの活動を通じて培われた利用者の技や経験が凝縮されている。ぜひ足を運び、作品のすばらしさを知ってほしい」と話している。